

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表日	2024年3月31日	事業所名	ひばりキッズジュニア 田川ひなた
-----	------------	------	------------------

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○				
	2	職員の配置数は適切である		○		・適切であっても、1対1での支援を必要とする児童が居た時に、職員の応援が必要となる時がある。	・支援の体制の見直し、職員のスキルアップに努めていく。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている		○			
業務 改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している		○			
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○				・年に1度は支援評価表にて、保護者様から評価して頂いています。継続していきます。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○				
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○			・第三者評価は行っていません。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○				
適切な 支援の 提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○				
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○				
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○				
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○				
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	○			・活動内容はチームで出し合い決めている。	・当月の活動計画をたて、児童の特性にあわせたプログラムを今後も計画していきます。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			・毎日利用される児童さんに合わせて工夫しています。同じプログラムで、変化を観察する場合もあります	・療育を踏まえた内容もふまえ、児童が楽しんで出来る活動内容を今後も考えていきたい。
16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成している	○			・午後より個別活動を取り入れ、各々別メニューで実施。	・特性に合わせた療育が出来る様、職員のスキルアップに努めていきたい。	

		チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○				
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○				
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○				
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○			・6ヶ月毎にモニタリングを行っている。	・今後も定期的に行って行くが、必要時には適宜に行っていきたい。
関係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携 関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○				
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○				
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	○				
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	○				
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○			・定期的に情報共有の会議を行っている。	・今後も情報共有の場を設けていく。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○				
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		○			
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある			○		・今後は計画していきたい。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○				・管理者が出席するだけでなく、職員も参加出来るようにしていきたい。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○				
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている		○			

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	32 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			・契約時に説明している。	・保護者会で再度説明したり、事業所に掲示している。
	33 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○			・計画立案時には保護者様に説明を行っている。同意を頂いている。	・保護者様に説明をわかりやすく行い、今後も同意して頂ける様努力していく。
	34 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			・相談があれば、個別に対応している。	・今後も相談しやすい、雰囲気作りと関係性を深めていきたい。
	35 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○			
	36 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○			・相談時には早急に解決出来るように努めています。	・今後も保護者様と情報共有しやすい雰囲気作りと関係性を築いていきます。
	37 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○				
	38 個人情報の取扱いに十分注意している	○				
	39 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			・絵カードでのコミュニケーションに取り組んでいる（PECS）	・コミュニケーションが取れるよう、職員のスキルアップに努めていく。
40 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○					
非常時等の対応	41 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○			・年に2回訓練を行っている。	・指針にあわせ、防災計画を立て、今後も引き続き取り組んで行きます。
	42 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○				
	43 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○				
	44 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○			・保護者様より、アレルギー検査をされた場合は情報共有して頂いている。	・今後も情報共有を行っていく。対応方法を看護師、調理員と対応確認を随時行なっていきます。
	45 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			・報告書を作成し、振り返りを行う。	・ヒヤリハットがない様に意識し、支援に努める。
	46 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			・研修会を開いて、振り返りもおこなう。	・年計画で研修を実施している。引き続き行っていく。
	47 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○				

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果（公表）

事業所名	ひばりキッズジュニア 田川ひなた
公表日	2024年3月31日

保護者等数／児童数	8／8
回答数 [割合 %]	8 [100%]

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されている	6			2		・保護者の方に周知して頂けるように、いつでも見学して頂けるようにお声掛けしていく。
	2 職員の配置数や専門性は適切である	4	1		3		
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	3			5	・見ていないのでわからない。	・契約時や保護者会では教室を見学して頂いているが、保護者様がいつでも気軽に事業所見学が出来るような雰囲気づくりを行っている。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	3			5	・見ていないのでわからない。	・清潔、安全に支援できるような環境整備を行っているが、その部分が保護者様に感じて頂けるよう取り組んでいきます。
適切な 支援 の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されている	8					・支援計画作成時には、保護者の方へ内容の説明を引き続きおこないます。
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	6			2		
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	6	1		1	・支援して頂いているので有り難いのですが、状況が変わる場合は連絡して頂きたいです。	
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されている	8					・当月のプログラムを利用者様、保護者様に紙面にて配布している。
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	2		1	5		
保護 者 へ の 説 明 等	10 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされた	8					・契約時に説明、事業所にも掲示している。
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされた	6			2		
	12 保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニングiv等）が行われている	4			4	・本児に対してはない。	・必要な児童に対しては行ってはいますが、対象の御家族以外にも周知して頂ける様、取り組んでいく。
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていくか	8					・6ヶ月毎の担当者会議だけでなく、必要に応じて保護者様と情報共有の場を設けています。
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われている	7		1			・保護者様からの相談など、面談をしたり、連絡帳等でも助言をおこなっている。
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されている	2		2	4	・無い様に感じる。	
	16 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されている	7			1		
17 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている	5			3			

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されている	4			4		
	19	個人情報の取扱いに十分注意されている	7			1		
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されている。また、発生を想定した訓練が実施されている	6		1	1		・マニュアルを作成し、年に2回訓練を行っているが、保護者の方にもその時の様子などを伝えていきます。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われている	3			5	・知らない。	・年に2回、風水害、防災訓練を行っています。
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしている	6	1	1		・週1の保育園と比べると、嫌がらずに笑顔で行っています。 ・時々嫌がる。	・利用者様がいつも笑顔で来所して頂けるよう日々の支援を振り返り支援を行っていきます。
	23	事業所の支援に満足している	6	2				・これからも全員の利用者様、保護者様に満足していただけるように、スキルアップに努めていきます。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。